

令和7年度内子町こども議会会議録

- 招集年月日 令和7年8月4日（月）  
 ○開会年月日 令和7年8月4日（月）  
 ○招集場所 内子町議会議事堂  
 ○議長 山田 駿太君（五十崎中学校）

○出席議員（13名）

- |     |       |           |     |        |           |
|-----|-------|-----------|-----|--------|-----------|
| 1番  | 大塚 美柚 | 君(小田中学校)  | 2番  | 亀岡 湊人  | 君(小田中学校)  |
| 3番  | 本田 暖乃 | 君(小田中学校)  | 4番  | 大程 愛華  | 君(大瀬中学校)  |
| 5番  | 宮田 馨樂 | 君(大瀬中学校)  | 6番  | 山本 絢菜  | 君(大瀬中学校)  |
| 7番  | 徳岡 真優 | 君(内子中学校)  | 8番  | 藤永 沙妃子 | 君(内子中学校)  |
| 9番  | 山中 大輝 | 君(内子中学校)  | 10番 | 山本 紗菜  | 君(内子中学校)  |
| 11番 | 飛野 花  | 君(五十崎中学校) | 12番 | 藤川 結   | 君(五十崎中学校) |
| 13番 | 宮岡 拓都 | 君(五十崎中学校) |     |        |           |

- 欠席議員 なし

○出席した理事者及び職員及び内子町議会議長

- |           |           |         |           |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 町 長       | 小野植 正 久 君 | 副 町 長   | 山 岡 敦 君   |
| 総務課長      | 上 山 淳 一 君 | 企画情報課長  | 二 宮 大 昌 君 |
| 住民課長      | 橋 本 一 恵 君 | 税 務 課 長 | 久保宮 賢 次 君 |
| 保健福祉課長    | 上 野 昌 宏 君 | こども支援課長 | 亀 岡 秀 俊 君 |
| 建設デザイン課長  | 亀 内 重 範 君 | 会 計 課 長 | 山 本 勝 利 君 |
| 町並・地域振興課長 | 高 山 重 樹 君 | 農林振興課長  | 新 田 栄 作 君 |
| 小田支所長     | 中 嶋 優 治 君 | 環境政策室長  | 西 岡 美 穂 君 |
| 教 育 長     | 林 純 司 君   | 学校教育課長  | 宮久保 邦 博 君 |
| 自治・学習課長   | 福 見 光 生 君 |         |           |
| 内子町議会議長   | 泉 浩 壽 君   |         |           |

○出席した事務局職員の職氏名

- 事 務 局 長 高 嶋 由久子 君 書 記 本 田 紳太郎 君

○議事日程

- 日程第 1 議席の指定  
 日程第 2 会議録署名議員の指名  
 日程第 3 会期決定の件及び議事日程通告

## 令和7年度内子町こども議会

自 令和7年8月4日

会期

1日間

至 令和7年8月4日

日程第 4 町長あいさつ

日程第 5 一般質問

---

○本日の会議に付した事件

日程第1から日程第5まで

---

午前 9時00分 開会

○議会事務局長（高嶋由久子君） ご起立願います。礼。ご着席ください。

○議長（山田駿太君） ただ今から、令和7年度内子町こども議会を開きます。

私は議長を務めさせていただきます五十崎中学校、山田駿太と申します。スムーズな議事の進行ができますよう、皆様のご協力をいただきたいと思います。よろしくお願います。

本こども議会には、地方自治法第121条第1項の規定により、町長、教育長の出席を求めています。また、説明員として出席通知のありました者は、副町長及び各課長等の15名であります。

これより、本日の会議を開きます。

---

### 日程第 1 議席の指定

○議長（山田駿太君） 「日程第1 議席の指定」を行います。議席は、会議規則第4条第1項の規定により、議長において、ただ今のご着席のとおり指定します。

---

### 日程第 2 会議録署名議員の指名

○議長（山田駿太君） 「日程第2 会議録署名議員の指名」を行います。会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、議長において、6番、山本絢菜議員、9番、山中大輝議員を指名します。

---

### 日程第 3 会期決定の件及び議事日程通告

○議長（山田駿太君） 「日程第3 会期決定の件」を議題とします。

お諮りします。こども議会の会期は本日1日限りとしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし。」の声あり〕

○議長（山田駿太君） 異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日限りと決定しました。

本日の議事日程は、お手元に配布しております議事日程のとおりであります。

---

#### 日程第 4 町長あいさつ

○議長（山田駿太君） 「日程第4 町長あいさつ」を受けることにします。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 皆さん、おはようございます。

〔「おはようございます。」の声あり〕

○町長（小野植正久君） 内子町長の小野植正久でございます。

本日は、昨年度に引き続き、2回目の開催となります。内子町こども議会に14人の皆さんに、こども議会議員として参加いただきました。町長として大変嬉しく、今、皆さんの堂々とした姿を拝見し、大変頼もしく、強い意欲を感じています。

さて、皆さんがいるこの議場は、町民の皆さんに「内子町に住んでいて良かった。」「内子町に住み続けたい。」と思っただけのよう、魅力的で豊かな町を作るために、町民の代表である町議会議員の皆さんと町が話し合いを行い、物事を決める大切な場所でございます。

皆さんには、内子町の将来を担う子どもたちを代表して、この議場で町議会の運営を直接体験していただきます。そして、実際に魅力的な町をつくるために真剣に考えてくれたことを質問してもらいます。皆さんのように若い世代の方たちがどのようなことを考えているのか聞かせていただくことは、とても貴重で重要なことですので、ぜひ自信をもって伝えてください。私たちも、皆さんの質問に精一杯答えさせていただきます。そのなかで、良い意見やアイデア等は内子町の未来のために活かしたいと思えます。議会においてはもちろんですが、様々な場面で内子町のまちづくりについて語り合うことは、大変意味のあることです。今回のこども議会がもっと多くの若い世代の方に町づくりに関心をもっただけのきっかけになっていただければと思っております。

終わりになりますが、本日の内子町こども議会の開催にあたり、多大なご尽力をいただきました学校関係者の皆様、保護者の皆様、そして町議会に対し心から感謝申し上げますとともに、今後の町政運営に対し、いっそうのご支援、ご協力をお願い申し上げ、開会のあいさつとさせていただきます。

今日は有意義なこども議会にしましょう。どうぞよろしく願いいたします。

---

#### 日程第 5 一般質問

○議長（山田駿太君） 「日程第5 一般質問」に入ります。

質問は一問一答といたします。質問時間は1人7分以内としておりますので、要領よくま

とめて質問されますよう、議員各位のご協力をお願いいたします。

発言残時間は、右側の壁に設置しております残時間表示板でご確認ください。また、理事者におかれましても、簡潔明瞭に答弁いただきますようご協力をお願いします。なお、議員の質問の趣旨等に対する確認等がございましたら、先にその旨を告げてから発言してください。

それでは、質問を許します。

最初に、1番、小田中学校、大塚美柚議員の発言を許します。

- 1番（大塚美柚君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 大塚美柚議員。
- 1番（大塚美柚君） 1番、大塚美柚です。

〔大塚美柚議員登壇〕

○1番（大塚美柚君） 小田地区では、夏に燈籠祭りや火祭りの2つの祭りが行われます。燈籠祭りの会場設営のボランティアに行ったところ、会場には、中学生、高校生、地域の方々が手伝いに来ていました。人数も少なく、暑いなか椅子やテントの準備をすることは、本当に大変でした。内子町のどの地域でも、こうしたイベントを支援してくれるスタッフの高齢化や人員不足が問題になっているのではないかと思います。

私たちは総合的な学習の時間に、町をどのように盛り上げるかを考えてきましたが、特に人口減少の進んでいる地区では、町を活性化させることはとても難しく感じました。そこで、内子町が「人材バンク」を立ち上げて、様々な内子町ゆかりの人に協力していただき、町内の行事の運営スタッフを募集できないかと考えました。また、小田中学校では、総合的な学習の時間に、町内の空き家をリフォームして、お遍路さんの宿泊施設にしてはどうかという話が出ました。例えば、そこにバンクに登録してもらった方々が寝具の準備や管理、朝食の調理、食材の準備などもして、中学生や高校生も一緒に活動するということもできます。

「人材バンク」の立ち上げ方や運営の仕方、登録していただいた方の運営への参加の仕方など、様々な課題はあると思いますが、町を活性化させるひとつの手段になるのではないかと考えます。「地域応援人材バンク」の設置について、町長のお考えを伺います。

- 議長（山田駿太君） 大塚美柚議員の質問に対して、理事者の答弁を求めます。
- 町長（小野植正久君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○議長（山田駿太君） 大塚議員のご質問にお答えをいたします。

大塚議員がおっしゃるとおり、人口減少や高齢化により、お祭りを始め、地域活動を続けることが難しくなっている地域が増えており、今後も厳しい状況が続くと予想されています。

しかしながら、地域活動が困難ななかにあっても、地域の皆さんが一致団結し、従来のやり方を変えたり、形を変えたり、工夫を凝らしながら地域活動を継続されていることに対し、

心から敬意を表します。

大塚議員が提案された「人材バンク」と同じような制度として、現在、『元気な集落づくり応援団「関係人口」創出事業』があります。これは地域活動の担い手が不足している地域を応援するため、お祭りやイベント、清掃等のお手伝いを希望する地域とボランティア活動で応援したい企業や団体とマッチングし、人材支援を行うというもので、すでに町内でも多くの団体に活用されております。

ご提案の「人材バンク」の仕組みづくりについては、大塚議員が地域の様子や課題をよく調べられ、非常におもしろい取り組みだと思いました。しかし、その実現には、解決しなければならない課題も多くありますから、まずは他の自治体の事例など、情報収集が必要であると考えているところであります。

最後に、中学生の皆さんが、この先、進学や就職でいったん内子町を離れることがあったとしても、ぜひふるさとを担う1人として地域とずっと関わり、支えてくれる人材になっていただきたいと思っています。1人ひとりが地域と関わりを持ち続けることで、地域活動継続の可能性が広がるものと考えています。

貴重なご提案、ありがとうございます。以上、答弁とさせていただきます。

○1番（大塚美柚君） 議長。

○議長（山田駿太君） 大塚美柚議員。

○1番（大塚美柚君） 現在行われている活動があると思いますが、今、中学生や高校生がお手伝いできる具体的な活動にはどのようなものがありますか。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

○町長（小野植正久君） 質問ありがとうございます。

例えばですね、地域では、自治会活動などで。例えば、清掃活動ですとか。あるいは、いろんなお祭りとかがあるかと思えます。そういったことのいろんなお手伝いということになるんですけども、小田であればですね、燈籠祭りですとか、火祭り。それから、ふるさとまつり。こういったものもあるかと思えます。そういったことに対してですね、手伝っていただく。そういうこともひとつの方法ではないかなというふうに思っております。

先般、開催されました燈籠祭り。中学生がお店を出していただいたということも伺っておりますので、こういったこともですね、盛り上げていただくひとつの方法としてはですね、大変ありがたいことだなというふうにも思っております。いろんな行事もあるかと思うんですけども、また地域での活動もいろいろあるかと思えます。またそういった地元の方ですね、お話をしていただくとか。また、ご家族のなかでもですね、「こんなことをしてみたいんだけど。」とかいうことですね、ご家庭でもお話をしていただくとかですね。そういうようなことで、地域とのつながり。そういったものもしていただければ、とてもありがたいなというふうに思っております。

○1番（大塚美柚君） 議長。

- 議長（山田駿太君） 大塚美柚議員。  
○1番（大塚美柚君） 以上で質問を終わります。  
○議長（山田駿太君） 大塚美柚議員の質問を終わります。  
次に、2番、小田中学校、亀岡湊人議員の発言を許します。  
○2番（亀岡湊人君） 議長。  
○議長（山田駿太君） 亀岡湊人議員。  
○2番（亀岡湊人君） 2番、亀岡湊人です。

〔亀岡湊人議員登壇〕

○2番（亀岡湊人君） 先週の町内の気温は何度だと思いますか。内子町の日中の気温は33度を超えている日が少なくありません。年々、地球温暖化のせいか、夏の気温が高くなっている気がしています。

私たちの小田中学校は木の香りの豊かな校舎ですが、体育館は夕方でも32度を上回るような暑さです。館内の湿度が65%を超えているような日もめずらしくなく、運動をしていなくても汗が出てきます。そんななかでも、集中して体育の授業や部活動などができるように、町内の小・中・高等学校の体育館にエアコンを設置してほしいと思います。多くの学校は避難所になっています。小田中学校の体育館も避難場所になっていますが、災害時には、地区内の多くの高齢者の方々も避難してくると考えられます。また、隣接する幼稚園の園児が体育館を使用することもあります。学校の体育館にエアコンを設置してもらえれば、授業や部活動中の熱中症を予防できるだけでなく、災害時に避難してきた方たちの健康にも配慮できると思いますが、エアコンの設置について、町長のお考えをお聞かせください。

- 議長（山田駿太君） 亀岡湊人の質問に対して、理事者の答弁を求めます。  
○教育長（林純司君） 議長。  
○議長（山田駿太君） 林教育長。

〔林純司教育長登壇〕

○教育長（林純司君） 亀岡議員のご質問には、教育長の私の方からお答えをさせていただきます。

学校体育館にエアコンを設置することは、児童生徒や先生の健康と安全を確保し、快適な教育環境を作るとともに、災害時の避難場所対策として非常に重要なことだというふうに思っております。特に、近年の異常気象により、夏は猛暑で高温多湿の日が続きますので、熱中症予防や体調管理のうえでもエアコンの整備は必要だと考えております。現在、学校施設では、トイレの改修工事や校舎照明のLED化を計画的に進めております。ご質問の体育館へのエアコン設置も、今後、国の補助金等を活用しながら取り組む予定でございます。

貴重なご提案、本当にありがとうございました。

以上、答弁とさせていただきます。

- 2番（亀岡湊人君） 議長。  
○議長（山田駿太君） 亀岡湊人議員。

○2番(亀岡湊人君) いつ頃、設置が完了するのでしょうか。完了時期が決まっていれば教えてください。

○教育長(林純司君) 議長。

○議長(山田駿太君) 林教育長。

○教育長(林純司君) 先程申し上げたことを少し詳しく説明申し上げますと、トイレの改修工事につきましても、小田中学校は終わっているんですけど、洋式化については、実はまだ終わっていない学校がございます。それから、蛍光灯ですけれども、こちらでもですね、製造中止となるのが決まっております、皆さんの教室などの照明を取り換えるLED工事の改修工事も早急に取り組む必要が現在ございます。

このように、みなさんにとって身近で緊急性の高い事業が控えておりますから、体育館のエアコン工事につきましても、財政状況を見ながら1日でも早く取り組みたいと考えております。具体的な年時については、現在申し上げられませんが、優先順位をつけながら取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

○2番(亀岡湊人君) 議長。

○議長(山田駿太君) 亀岡湊人議員。

○2番(亀岡湊人君) 以上で質問を終わります。

○議長(山田駿太君) 亀岡湊人議員の質問を終わります。

次に、3番、小田中学校、本田暖乃議員の発言を許します。

○3番(本田暖乃君) 議長。

○議長(山田駿太君) 本田暖乃議員。

○3番(本田暖乃君) 3番、本田暖乃です。

[本田暖乃議員登壇]

○3番(本田暖乃君) 小田地区は弁当などの食料品や文房具などを買える店が少なく、内子の町中まで行くための交通手段もあまりありません。そのため、子どもだけで必要なものを購入しに行くことができません。山間部の小田地区や大瀬地区に移動コンビニを週1、2回運行してもらえば、わざわざ遠くまで出かける必要がなくなり、生活や学習に必要な最低限の品物を必要なときに手に入れることができるようになります。また、この方法は店舗を設置する土地や駐車場も必要ないので、コスト面でもメリットがあります。

さらに、なかなか1人で買い物に出かけることが難しい方や運転免許証を持たない方、免許証を返納した方の買い物支援にもなると思っております。免許返納後も安心して買い物できる環境づくりにつながるからです。

移動コンビニの導入について、町長のお考えをお聞かせください。

○議長(山田駿太君) 本田暖乃議員の質問に対して、理事者の答弁を求めます。

○町長(小野植正久君) 議長。

○議長(山田駿太君) 小野植町長。

○町長(小野植正久君) 本田議員のご質問にお答えをいたします。

現在、内子町内では、愛媛中央農協の「まるえちゃん号」やフジの移動スーパー。そして、五十崎セブンイレブンの移動販売車などが、主にお店のない地域で高齢者の方が利用しやすい時間帯に曜日などを決めて回っておられます。中学生の皆さんが利用しやすい時間帯ではないため、あまり目にすることはないかもしれませんが、食料品や日常生活用品なども扱っておりまして、ほしい商品がない場合は、販売員の方にお問い合わせすると次回の巡回のときに準備してもらうことができると伺っております。商品が少ないだとか、ほしい物がすぐ買えないなどの不便もあるかと思いますが、機会があれば、ぜひ夏休みなどにも利用してみてくださいと思います。

以上、答弁とさせていただきます。

○3番（本田暖乃君） 議長。

○議長（山田駿太君） 本田暖乃議員。

○3番（本田暖乃君） 移動コンビニの導入についてお考えを伺いましたが、私はもっと安心して暮らせる町について考えてみました。移動コンビニに町の社会福祉関係の方や保健師さんが時々乗ってくだされば、町内の山間部の高齢者の方々の支援にもなると思います。そうすると、高齢者の人たちも安心して暮らせると思います。

そこで質問です。移動コンビニを運営することで町内の方の暮らしの支援になるのではないかと思います。町長はどうお考えですか。また、町のみんなの暮らしをよくするために、どのような取り組みを考えていらっしゃるのかも伺いたいと思います。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 移動コンビニと高齢者の見守りを組み合わせたご提案、よいアイデアだと思います。しかし、先程ご紹介しました移動販売車では、巡回場所まで買い物に来る方だけの見守りに限られております。現在、内子町では、見守りネットワークという制度を設けており、移動販売を行っている事業所や郵便局など、高齢者と接する機会が多い事業所と協定を結び、保健師や福祉関係の支援が必要なときは情報をいただき、支援につなげております。また、それぞれの地域にいらっしゃる民生児童委員さんや見守り推進委員さんからも情報ももらっておりますし、食事の準備が難しい高齢者宅には、見守りを兼ねた自宅への配食サービスも行っております。

さらに、高齢者のため、外出が難しい方などを支援するため、小田地区では今年の10月からデマンドバス運行を一部見直します。それは、小田地区の市街地をデマンドバスが周遊することで、診療所や農協など、複数の場所に移動できるようにしたり、地域の方の車で送迎したりする取り組みであります。高齢者が地域で安心して生活できるよう取り組んでいるところですが、中学生の皆様もお年寄りの方をあたたかく見守っていただき、様子がおかしいなと感じたら、ご連絡をいただきたいと思います。

貴重なご提案、ありがとうございます。以上、答弁とさせていただきます。

- 3番（本田暖乃君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 本田暖乃議員。
- 3番（本田暖乃君） 以上で質問を終わります。
- 議長（山田駿太君） 本田暖乃議員の質問を終わります。  
ここで、暫時休憩します。午前9時35分から再開します。

午前 9時25分 休憩

---

午前 9時35分 再開

- 議長（山田駿太君） 休憩前に続き、会議を開きます。  
次に、4番、大瀬中学校、大程愛華議員の発言を許します。
- 4番（大程愛華君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 大程愛華議員。
- 4番（大程愛華君） 4番、大程愛華です。

〔大程愛華議員登壇〕

○4番（大程愛華君） 内子町は、自然や歴史、文化が豊かな地域で、多くの観光客が訪れています。私たちの大瀬地区にも美しい自然や風景など、魅力ある場所があります。しかし、まだその魅力が十分に知られていないように感じます。もっと多くの人に大瀬地区の魅力を知ってもらえれば、地域がもっと元気になると思います。

そこで、大瀬地区の観光について考えを伺います。まず、内子町に訪れる観光客は何人が教えてください。そのなかで、大瀬地区を訪れる観光客の数についてどれくらい把握されていますか。

- 議長（山田駿太君） 大程愛華議員の質問に対して、理事者の答弁を求めます。
- 町長（小野植正久君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 大程議員のご質問にお答えをいたします。

令和6年中の内子町全体の観光客数、入り込み客数でありますけど、92万3,177人でした。同じく令和6年中に大瀬地区を訪れた観光客数は正確には把握できていませんが、「大瀬農業祭柿祭り」や「川登川まつり」など、地区内で開催されたイベントへの参加者と「大瀬の館」や「いかだや」の宿泊者を合計すると、約2,000人でございました。

以上、答弁といたします。

- 4番（大程愛華君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 大程愛華議員。
- 4番（大程愛華君） 内子町の観光パンフレットはいろいろありますが、大瀬地区があま

り紹介されていないように感じました。そこで、大瀬地区の見どころや魅力について、町としてどのようにお考えですか。お聞かせください。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 大瀬地区は、ノーベル文学賞受賞者の故大江健三郎氏のふるさととして広く知られていますし、成留屋の町並みや夫婦滝などの見どころがあります。また、柿の一大産地でもあり、大瀬地区は魅力の多い場所です。内子町では今年度、より長く町内に滞在し、楽しんでもらうために、新しい観光振興計画を作りました。その計画に沿って、町の中心部だけでなく、大瀬地区などの周辺地域にも足を運んでいただけるよう、推進をまいります。

以上、答弁といたします。

○4番（大程愛華君） 議長。

○議長（山田駿太君） 大程愛華議員。

○4番（大程愛華君） 私たちは、大瀬地区に訪れる観光客や移住者を増やしたいと考えています。そのために、新しい観光スポットやイベントを作ることもひとつの方法だと思います。例えば、空き家や空き地を利用して芸術家による個展や大瀬の農産物販売などのイベントを開催したり、お遍路さんの立ち寄れる場所としても工夫したりすることができます。また、ホームページだけでなくSNSを使って、大瀬の自然や見どころを大勢の人に知ってもらうことができると思います。そうすれば、多くの人に内子町や大瀬地区を知ってもらい、訪れる人も増えることで、将来的には移住者も増える可能性があります。

この提案について、町長のお考えを伺います。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 空き屋や空き地を活用したアーティストの個展や農産物販売のイベント開催は、地域の価値や魅力を高め、訪れる人々に大瀬の魅力を直接感じてもらえる素晴らしいアイデアだと思います。農産物を加工したスイーツなども販売できれば、さらにもっと良くなりますし、休憩所等を設けることでお遍路さんが大瀬地区での滞在を楽しむことができます。

SNSでの情報発信も大切であります。大瀬地区の美しい自然や観光スポットを魅力的に紹介することで、多くの人々に関心をもってもらえますし、フォロワーとのコミュニケーションを深めることで、リピーターの獲得にもつながってまいります。

また、地域の方々が主になり、イベントを企画・運営することで地域への愛着が生まれ、訪れる人々にも、そのあたたかさが伝わり、大瀬地区の魅力をよりいっそう高めることができ、将来的にも移住者が増えていくのではないかとこのように思います。

これらの取り組みを進めるためには、行政と地域の皆様が連携し、知恵を出し合うことが必要だと思います。大瀬中学校の皆さんもぜひ一緒に考えていただければありがたいです。

貴重なご提案、誠にありがとうございました。以上、答弁とさせていただきます。

○4番（大程愛華君） 議長。

○議長（山田駿太君） 大程愛華議員。

○4番（大程愛華君） 以上で質問を終わります。

○議長（山田駿太君） 大程愛華議員の質問を終わります。

次に、5番、宮田馨樂議員の発言を許します。

○5番（宮田馨樂君） 議長。

○議長（山田駿太君） 宮田馨樂議員。

○5番（宮田馨樂君） 5番、宮田馨樂です。

〔宮田馨樂議員登壇〕

○5番（宮田馨樂君） 歩道は安全に通学したり散歩したりするための、とても大切な場所です。よく地域の皆さんが清掃活動をされているのを見かけます。しかし、少子高齢化が進むなかで、今まで地域のみんなで行ってきた草引きや草刈りなどの活動が難しくなることも考えられます。

こうした課題について、町としてのお考えを伺います。はじめに、内子町では、今どのように歩道を整備されているのでしょうか。

○議長（山田駿太君） 宮田馨樂議員の質問に対して、理事者の答弁を求めます。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 宮田議員のご質問にお答えをいたします。

内子町内の歩道の整備は、歩行者の安全と快適性を向上させるために行っているもので、国道や県道の歩道は愛媛県が建設業者へ委託をし、例年、7月から8月にかけて除草作業を行っております。

町道の歩道でありますけれども、内子町が定めた「町道等維持管理対策補助金制度」を利用してもらって、地域の皆さんが協力して除草作業を行っていただいております。

以上、答弁とさせていただきます。

○5番（宮田馨樂君） 議長。

○議長（山田駿太君） 宮田馨樂議員。

○5番（宮田馨樂君） これまで地域の皆さんが草引きや草刈りを行ってきましたが、高齢化や少子化が進んでおり、今までどおりの活動が難しくなると思います。その点についてどう考えているのかを伺います。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

[小野植正久町長登壇]

○町長（小野植正久君） 内子町が管理をしている町道の草引きや草刈りは、先程お答えした「町道等維持管理対策補助金」を活用していただき、地域の皆様にもご協力いただき、行ってもらっております。

それと併せて、少子高齢化が進み、地域を守る力が低下している地域。具体的には、65歳以上の人口割合が50%を超える行政区では、町が業者に委託をして、木の枝や路面及び道路の側溝に詰まったごみ等を除去しております。これからも地域に住む皆様の力をお借りし、共に協力しながら、安全で快適な道路の維持管理に努めていきたいというふうに考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○5番（宮田馨樂君） 議長。

○議長（山田駿太君） 宮田馨樂議員。

○5番（宮田馨樂君） 最後に、私から提案があります。今、大瀬地区ではクリーン大作戦というごみ拾いを中心とした清掃活動が行われています。この取り組みをもっと広げていくことはできないでしょうか。自分の地区だけではなく、町全体でごみ拾いや草引きなどを協力し合う、地域ぐるみの活動の仕組みづくりはどうでしょうか。みんなで協力すれば、もっときれいな町になると思います。このことについて、町長のお考えをお聞かせください。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

[小野植正久町長登壇]

○町長（小野植正久君） 内子町では、愛媛県が進める「クリーン愛媛運動」に併せ、5月から7月頃にかけて町内の自治会などでいっせいに清掃が行われております。このほかにも、学校をはじめ、企業、団体、住民グループなど、多くの皆さんがそれぞれ実施日や場所を決めて、自主的に清掃活動が行われております。町内でこのような活動が数多く、また長く続けられていることはとても素晴らしいことで、町長として誇らしく思いますし、町も積極的に応援していきたいと考えています。中学生の皆さんもぜひ協力してもらって、きれいな内子町にしていきたいと思います。

貴重なご提案ありがとうございました。以上、答弁とさせていただきます。

○5番（宮田馨樂君） 議長。

○議長（山田駿太君） 宮田馨樂議員。

○5番（宮田馨樂君） 以上で質問を終わります。

○議長（山田駿太君） 宮田馨樂議員の質問を終わります。

次に、6番、大瀬中学校、山本絢菜議員の発言を許します。

○6番（山本絢菜君） 議長。

○議長（山田駿太君） 山本絢菜議員。

○6番（山本絢菜君） 6番、山本絢菜です。

〔山本絢菜議員登壇〕

○6番（山本絢菜君） 内子町では、少子化や人口減少により、小中学校の児童生徒数が減ってきています。そのため、学校を統合したり、新しくすることについてどう考えているのか気になっています。

そこで、小中学校の統廃合について質問します。内子町の小中学校の児童生徒数が減っていると聞きます。これから学校をまとめる統廃合について、町ではどのように考えているのか伺います。実際に、統廃合についてどのような話し合いや検討が行われているのかをお聞かせください。

○議長（山田駿太君） 山本絢菜議員の質問に対して、理事者の答弁を求めます。

○教育長（林純司君） 議長。

○議長（山田駿太君） 林教育長。

〔林純司教育長登壇〕

○教育長（林純司君） 山本議員のご質問にお答えいたします。

小中学校の統廃合についての話し合いは、現在、内子町教育委員会から意見を求められた内子町教育改革懇談会というところで審議をされております。この懇談会は、学校の統廃合を含む様々な教育問題を協議する会議で、自治会の代表者や学校関係者などの委員15名で構成をされております。懇談会では、まず児童生徒数の現状や将来設計について関係者からの多様な意見を収集するために、児童生徒、保護者、教員、地域住民を対象に、学校統合に関するアンケートを実施してまいりました。山本議員もご回答いただいたかもしれません。

また、小規模校、大規模校におけるメリットやデメリットについても話し合っております。そのほか、通学に関する時間や方法について。また、部活動の地域移行についても話し合いを進めております。これからも学校統廃合を進めるための基準に関する話し合いを重ね、具体的に学校の適正規模や適正配置の考え方について検討してまいりたいと思っております。

以上、答弁とさせていただきます。

○6番（山本絢菜君） 議長。

○議長（山田駿太君） 山本絢菜議員。

○6番（山本絢菜君） 統廃合の判断基準はありますか。例えば、「何人以下になったら学校を統合する」などの決まりがあるのか、併せて伺います。

○教育長（林純司君） 議長。

○議長（山田駿太君） 林教育長。

〔林純司教育長登壇〕

○教育長（林純司君） 学校の統廃合につきましては、先程のご質問にお答えいたしましたように、内子町教育改革懇談会で話し合いを進めておる状況です。懇談会からは、令和7年1月、今年1月に教育委員会に対して中間報告がございました。令和7年12月、今年12月には最終報告を受ける予定としております。教育委員会では、この最終報告を基準と

して、学校統廃合にかかる再編計画を作成することとしております。

ご質問のような人数による学校統廃合の決まりはございませんが、「極端な少人数学級は解消すべきである。」と懇談会の方では議論をされております。

中学生にとって、本当にとっても身近で重要なご質問ありがとうございました。

以上、答弁とさせていただきます。

○6番（山本絢菜君） 議長。

○議長（山田駿太君） 山本絢菜議員。

○6番（山本絢菜君） もしも将来的に統廃合が決まった場合、そのときにはどこの学校が残ることになるのでしょうか。そして、新しい学校名や通学方法はどうなるのでしょうか。

○教育長（林純司君） 議長。

○議長（山田駿太君） 林教育長。

○教育長（林純司君） どこの学校が残るかということについても、先程申し上げました教育改革懇談会の方で議論中でございます。そして、例えば通学方法でありますとか、制服をどうするかとか、校則を見直すかとかということにつきましても、具体的に統廃合が決まりましたら、関係する生徒の方や保護者、そして先生方に集まっていただいて協議をするという形になると思います。

○6番（山本絢菜君） 議長。

○議長（山田駿太君） 山本絢菜議員。

○6番（山本絢菜君） 以上で質問を終わります。

○議長（山田駿太君） 山本絢菜議員の質問を終わります。

ここで、暫時休憩します。午前10時10分から再開します。

午前 9時57分 休憩

---

午前 10時10分 再開

○議長（山田駿太君） 休憩前に続き、会議を開きます。

次に、7番、内子中学校、徳岡真優議員の発言を許します。

○7番（徳岡真優君） 議長。

○議長（山田駿太君） 徳岡真優議員。

○7番（徳岡真優君） 7番、徳岡真優です。

〔徳岡真優議員登壇〕

○7番（徳岡真優君） 私は現在、内子中学校3年ですが、バス通学利用について質問させていただきます。現在、家から学校までの距離が3km以上の方はバス通学が認められています。私の場合は、中学校まで2.6kmで認められていません。このように、規定の距離に少し足りずバス通学を利用できない場合があります。私も小学生のときはバスで通学し

ていましたが、中学生になると距離が足りなくて自転車で通学しています。

中学生になると部活動で帰りが遅くなることが多いです。街灯が少ない道なので、日が暮れるのが早くなってくると自転車を運転していて不安になることが多いです。例えば、イノシシなどの野生動物に出くわすことがあって危険だと感じることもありました。安全に登下校をするために街灯の設置など積極的にしてもらいたいです。地域の人もよく使う道なので、街灯があると助かると思います。私以外でも、距離が足りなくて歩きや車で登下校している子どもがいると聞いたことがあります。登下校している道は交通量が多く、危なくて不安だと言っていました。子どもだけではなく、保護者の不安までも煽るのではないのでしょうか。子どもが学校に通学するのに通学路が危険だと感じたら、登下校しづらいと思います。私は子どもが安全に登下校できる環境を整えるべきだと思います。私の地域でバス通学を利用している児童生徒は10人ほどです。これだったら、あと数人乗ることができると思います。ですが、今はバスの運転手不足も問題になっています。バスの運転手不足対策として、積極的に募集などをしてもらいたいです。

そこで、バス通学を利用できる条件の見直しを検討していただけたら、親も子どもももっと安心して通学することができるようになると考えますが、町のお考えを伺います。

○議長（山田駿太君） 徳岡真優議員の質問に対して、理事者の答弁を求めます。

○教育長（林純司君） 議長。

○議長（山田駿太君） 林教育長。

〔林純司教育長登壇〕

○教育長（林純司君） 徳岡議員のご質問にお答えします。

内子町では、児童生徒の皆さんが安全に学校に通うことができるように国の基準、小学校は4km以上、中学校は6km以上というものを参考に、基本的には片道の通学距離が3km以上の児童生徒を対象にスクールバスを運行しております。

利用条件につきましては、今年の4月から小田中学校以外の生徒は片道4km以上であった基準を町内で統一して3km以上に見直しをしたところでございます。

また、通学距離が基準に満たない場合でも、安全に通学できない場合などは個別に相談等を行い、スクールバスが利用できるようにしております。これからも児童生徒の皆さん1人ひとりが安心して登校できるよう取り組んでまいりたいというふうに考えております。

貴重なご提案ありがとうございました。

以上、答弁とさせていただきます。

○7番（徳岡真優君） 議長。

○議長（山田駿太君） 徳岡真優議員。

○7番（徳岡真優君） 学校や地域での交通安全教室の機会を増やすことで、児童生徒の交通安全への意識を高めることができると考えますが、町のお考えをお聞かせください。

○教育長（林純司君） 議長。

○議長（山田駿太君） 林教育長。

○教育長（林純司君） 申し訳ございません。交通安全教室は学校でどれぐらいの頻度で行われているか分からないんですけど、多分、学校でも最低限のそういったものは行われていると思います。徳岡議員の言われるとおり、やっぱり交通安全、非常に大事ですから、また学校側と相談して、そういう機会を増やしていけるように取り組んでまいりたいと思います。

○7番（徳岡真優君） 議長。

○議長（山田駿太君） 徳岡真優議員。

○7番（徳岡真優君） 児童生徒が安全に登下校できるよう、よろしくお願いします。

以上で質問を終わります。

○議長（山田駿太君） 徳岡真優議員の質問を終わります。

次に、8番、内子中学校、藤永沙妃子議員の発言を許します。

○8番（藤永沙妃子君） 議長。

○議長（山田駿太君） 藤永沙妃子議員。

○8番（藤永沙妃子君） 8番、藤永沙妃子です。

〔藤永沙妃子議員登壇〕

○8番（藤永沙妃子君） 制服を内子町の管理のもと、貸与、または配給することを提案します。

制服を使用することで、警察や消防では信頼感、信用があり、周りの人から一目で認識されるため、その職業の価値を守っています。これを学生に置き換えると、一目で周りから学生であると分かることや、信用、安心感、周りの人からの評価を得ることができると思います。また、同じものを着ることで学生どうしの仲間意識を作ることができます。従って、制服を着ることは意義があると思います。

しかし、私たちが来ている制服は自分たちが決めたわけではなく、定められている制服なのに、なぜ消防や警察、自衛隊のように貸与ではなく、学生服は購入なのでしょう。例えば、経費の問題があるのなら、発注数が多くなることで購入代金が下げられるため、内子町内にある中学校の制服を統一することによって、よりお得に手に入れることができると考えました。内子町による中学校4校の生徒数は減少傾向にあります。具体的には、「令和6年度内子町における児童生徒の推移状況」を参考に、現在、令和7年度の生徒数が計371名であることに對し、今の小学1年生が中学生になる令和13年度には計282名と約100名も減っています。内子町の中学校の制服を統一した場合、各学校の区別が付きにくいという問題が起こるかもしれませんが、例えば、校章やリボンの色、シャツの色をそれぞれ変えると、制服の発注数はそのまま各学校の差別化を図ることができます。そのうえで家庭の負担を減らすために内子町からの制服の貸与、もしくは制服購入の補助を求めます。制服を貸与、または配給する制度を作ることで、内子町がこのような子育て支援を行っていることがより魅力的で先進的な事業をしていると全国に発信することができると思います。よって、私は内子町内の中学校の制服の統一化と内子町の管理のもと制服の貸与、もしくは

配給することを提案いたします。この件について、町はどのように考えますか。

○議長（山田駿太君） 藤永沙妃子議員の質問に対して、理事者の答弁を求めます。

○教育長（林純司君） 議長。

○議長（山田駿太君） 林教育長。

〔林純司教育長登壇〕

○教育長（林純司君） 藤永議員のご質問にお答えいたします。

学校の制服は校則によって決めるものとされており、各学校で生徒総会や校則検討委員会で話し合われているというふうになっております。現在、内子町では、学校給食費や修学旅行に対する補助などにより、皆さんの経済的な負担が少しでも軽くなるように応援をしているところでございます。素晴らしいご提案だとは思いますが、残念ながら制服の購入に対する補助や貸与、配給などにつきましては、今のところは考えておりません。

以上、答弁とさせていただきます。

○8番（藤永沙妃子君） 議長。

○議長（山田駿太君） 藤永沙妃子議員。

○8番（藤永沙妃子君） また、町内の制服を廃止し、私服化とすることについては、どうお考えですか。

○教育長（林純司君） 議長。

○議長（山田駿太君） 林教育長。

〔林純司教育長登壇〕

○教育長（林純司君） 私服化や制服の在り方につきましては、ぜひ学校の中で話し合いをしていただきたいというふうに思います。特に私服化につきましては、様々な視点からメリット、デメリット、両方があるというふうに思いますけれども、特に心配なのが家庭の経済状況によって差が出るのではないかとということでございます。このように私服とした場合、どのようなことが問題になるかなど、生徒の皆さんがいろんな意見を出し合って1つひとつ話し合うことが大切で、とても意義があることだと思っております。ぜひ取り組んでみてはいかがでしょうか。

身近な制服についてのご質問、本当にありがとうございました。

以上、答弁とさせていただきます。

○8番（藤永沙妃子君） 議長。

○議長（山田駿太君） 藤永沙妃子議員。

○8番（藤永沙妃子君） 以上で質問を終わります。ご回答ありがとうございました。

○議長（山田駿太君） 藤永沙妃子議員の質問を終わります。

次に、9番、内子中学校、山中大輝議員の発言を許します。

○9番（山中大輝君） 議長。

○議長（山田駿太君） 山中大輝議員。

○9番（山中大輝君） 9番、山中大輝です。

〔山中大輝議員登壇〕

○9番（山中大輝君） 内子町内に自転車、スケートボード等を自由に使うことのできるグラウンドを配置してほしいです。スケートボードは、近年、オリンピック競技にもなっています。僕の友人から聞いたところでは、中学生から大人まで、少なくとも10人以上、スケートボードを使っている人がいました。運動公園の駐車場を利用して遊んでいる人もいます。また、小学生が内子図書館付近で自転車を漕いでいる場面をよく見ます。どちらも、本来、自転車、スケートボードを使うことを目的としていないので、車と衝突したり、歩行者とぶつかって怪我をさせてしまったりする危険を伴います。

中山にある「栗の里公園」には、スケートボードも使用できるサイクリングコースがあります。しかし、そこまで中学生などの子どもだけで行くには距離があるし、国道を通らなければならないため、交通事故の危険性もあります。また、松前町では、こども議会によってスケートボード、自転車、BMXが使えるパークの整備が実現しました。なので、内子町にも歩行者や車と分けて遊べる場所が必要なのではないかと思います。「涼しくて遊べるところがほしい。」という意見もあったため、日陰のある場所に配置するなどの工夫も必要だと思います。もしそのような手軽に行ける場所があれば、自転車、スケートボードの他にも、一輪車やリップスティックなど、安全なスペースが十分ないと遊ぶことのできないものも使うことができ、よりたくさんの方が楽しめる賑やかな内子町になると思います。また、東自治センターの広場や運動公園が利用できるのではと思っています。家族から聞いたところでは、運動公園には昔アスレチックがあったそうですが、今はないみたいです。もし今も使用されていないのであれば、サイクリングコースやグラウンドとして使用できるのではないかと思います。しかし、かなり広いスペースも必要になるし、アスファルトの整備された地面が必要なので、予算のかかることにはなりますが、どうでしょうか。町長のお考えを伺います。

○議長（山田駿太君） 山中大輝議員の質問に対して、理事者の答弁を求めます。

○教育長（林純司君） 議長。

○議長（山田駿太君） 林教育長。

〔林純司教育長登壇〕

○教育長（林純司君） 山中議員のご質問には、教育長の私の方からお答えをさせていただきます。

自転車やスケートボード等で自由に使えるグラウンドを整備することは、町内のスポーツ人口の増加や町外からの観光客を呼び込むためにとっても有意義なご意見だと思います。先程、山中議員も言われましたけれども、整備には比較的、広めの敷地が必要ですから、今後、大規模な改修を考えている。少し遠いんですけども、小田地区の城の台公園などで、町民の皆さんとも話し合いをしながら整備を進めていきたいというふうに考えております。

貴重なご提案、本当にありがとうございました。

以上、答弁とさせていただきます。

- 9番（山中大輝君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 山中大輝議員。
- 9番（山中大輝君） もし配置することが決定した場合、配置の決定から配置に至るまでどれくらいの期間がかかりますか。
- 教育長（林純司君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 林教育長。
- 教育長（林純司君） 山中議員、申し訳ありません。城の台公園の整備につきましては、まだ具体的なスケジュールは決定しておりません。財政状況、お金の具合ですね。そういったこともいろいろ見ながら、できるだけ早期に取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。
- 9番（山中大輝君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 山中大輝議員。
- 9番（山中大輝君） 以上で質問を終わります。
- 議長（山田駿太君） 山中大輝議員の質問を終わります。

次に、10番、内子中学校、山本紗菜議員の発言を許します。

- 10番（山本紗菜君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 山本紗菜議員。
- 10番（山本紗菜君） 10番、山本紗菜です。

〔山本紗菜議員登壇〕

○10番（山本紗菜君） 現在、内子町では、内子町立小中学校に在学する児童生徒の英語力及び学習意欲の向上、児童生徒の保護者の負担軽減を図ることを目的に、年度内において1回の検定料を補助されています。そのため、英語検定を受けるとき、家庭での負担が軽減し、誰もが1回は気軽に受けることができます。これは内子町の魅力のひとつではないでしょうか。そして、私もこの制度のおかげで、今まで英語検定5級と3級の2回分が補助され、英語検定を意欲的に受けることができました。ですが、漢字検定ではこの制度がありません。そのため、英語検定は挑戦しやすいけど漢字検定は挑戦しにくいという人が多いのではないのでしょうか。

最近では、英語力を身につけることが必要になってきました。ですが、私たちは日本人で漢字力も英語力以上に必要なのではないのでしょうか。また、漢字検定や英語検定は3級以上で内申点の加点があり、高校入試に有利に働く場合があるので、中学生は特に漢字検定や英語検定を受けたいと思っています。

そこで、提案なのですが、英語検定での補助金制度があるので、漢字検定でもその制度を導入してくれませんか。町の意見を伺います。

- 議長（山田駿太君） 山本紗菜議員の質問に対して、理事者の答弁を求めます。
- 教育長（林純司君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 林教育長。

〔林純司教育長登壇〕

○教育長（林純司君） 山本議員のご質問にお答えいたします。

内子町では、児童生徒の英語力の向上と学習意欲の向上を目的として英語検定料について補助しており、毎年多くの児童生徒の皆さんにご利用いただいておりますが、山本議員の言われるように漢字検定料は補助対象とはしておりませんでした。山本議員がおっしゃるとおり、漢字検定料も補助することで、さらに家庭での負担が軽減され、より多くの人々が漢字検定に挑戦できる有効な取り組みだと思っておりますので、実施に向けて検討をさせていただきます。

貴重なご提案、ありがとうございました。

以上、答弁とさせていただきます。

○10番（山本紗菜君） 議長。

○議長（山田駿太君） 山本紗菜議員。

○10番（山本紗菜君） 1日でも早くこの制度を導入してもらいたいと考えているのですが、いつ頃の導入を検討しているのでしょうか。

○教育長（林純司君） 議長。

○議長（山田駿太君） 林教育長。

○教育長（林純司君） 1日でも早く。本当にそのとおりだと思います。

ですが、ちょっと今年度からの実施はですね、予算の都合上がございまして、まあ難しいのではないかとこのように考えております。

ただ、来年度には議会、本当の方の議会ですね。本当の議会の方でご理解を得て、予算が認められれば実施できるのではないかと思います。山本議員は3年生ですか。すみません。山本議員には間に合わないですけど、後輩の皆さんには挑戦できる環境ができますので、そのようなことでご理解いただけたらなというふうに思います。

以上です。

○10番（山本紗菜君） 議長。

○議長（山田駿太君） 山本紗菜議員。

○10番（山本紗菜君） 以上で質問を終わります。

○議長（山田駿太君） 山本紗菜議員の質問を終わります。

ここで、暫時休憩します。午前10時40分から再開します。

午前 10時35分 休憩

---

午前 10時40分 再開

○議長（山田駿太君） 休憩前に続き、会議を開きます。

次に、11番、五十崎中学校、飛野花議員の発言を許します。

- 11番（飛野花君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 飛野花議員。
- 11番（飛野花君） 11番、飛野花です。

〔飛野花議員登壇〕

○11番（飛野花君） 私たちが暮らす内子町には、公園や美しい川がたくさんあります。子どもたちが自然で遊べる場所であり、町民の安らぎの場でもある大切な存在です。しかし、近年ではそういった場所の環境が整っていないように感じます。そこで、今回は小田川の環境整備と公園の整備についてお伺いします。

まず、1つ目に小田川の環境整備についてお伺いします。本校で「内子町でもっとこうなったらいいなと思うことはありますか。」というアンケートを実施しました。その中に「小田川沿いの土手に昔、家族でたくさん遊びに行ったけれど、今は背が高い草が生い茂っているから、その環境整備をしてほしい。」「自然豊かだけど、ごみが多い。」という回答もありました。小田川は私たちにとって身近な場所です。私も家族で散歩に行ったり、友達と遊んだりとたくさん利用してきました。しかし、最近では河原の草が荒れていたり、ごみが散乱したりしている様子を見かけます。子どもたちが遊んでいるときに触れてしまったら危ないのではないかと思うようなものも落ちており、とても心配です。こうした状況に対して、町としてこれからどのような河原の整備や清掃活動を行っていくのかお伺いします。

- 議長（山田駿太君） 飛野花議員の質問に対して、理事者の答弁を求めます。
- 町長（小野植正久君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 飛野議員のご質問にお答えをいたします。

まず、小田川の河原は「近自然型川づくり」という方法で整備をされています。これは様々な生き物が生息し、洪水時には河川の外に水があふれ出るような、本来の川の姿を大切にする工法です。町としては、今後できるだけ自然の姿を残せるように整備を行います。

次に、河川の清掃活動は毎年1月頃に「クリーン愛媛運動」に合わせて行っております。また、地域内外のボランティアの方々も自主的に清掃活動を行っていますが、残念ながらごみが落ちている場所があります。

町では、河川を利用したイベントなどを行い、地域の皆さんにより河川に愛着を持ってもらい、河川を大事にしてもらう気持ちを育み、河原にはごみを捨てない、綺麗にしないといけないという気持ちを持ってもらうことで、ごみの減量化の取り組みを進めてまいります。これからはいろいろな団体と協力しながら、皆さんに愛される小田川にしていきたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

- 11番（飛野花君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 飛野花議員。

○11番（飛野花君） 次に、公園についての質問です。公園で遊ぶ子どもたちが減ってきているのではないかと感じます。元気に遊ぶ子どもたちを見かけることが少なくなり、とても寂しいです。その原因は、設置されている遊具が古くなっていて、数が限られているからだと考えます。先程のアンケートの中には、「老朽化している遊具を新しくする。」、「手軽に遊べる場所を増やす。」、「危険なところを安全にする。」、「子どもの遊ぶ大きな公園があったらいいと思う。」という回答がありました。

そこで、今ある公園の遊具をリニューアルし、新たにインクルーシブ公園を建設することを提案します。障がいのある子どものためではなく、障がいの有無にかかわらず、誰もが一緒に遊べる公園です。例えば、車椅子のまま遊べる公園があれば、より多くの人を楽しめると思います。たくさんの人たちが集う場所を守るために、今後の取り組みについて町長の所見をお伺いします。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 公園の遊具につきましては、今まさにいろんな町内の公園についてですね、遊具のリニューアル、更新を行っております。五十崎地区においてはですね、皆さんの身近な公園でもある新川児童公園が間もなくリニューアル完成をいたします。そして、現在、龍王公園でも。地域の方や子育て世代の方の意見を聞かせてもらいつつ、インクルーシブの考え方にも沿ったリニューアル計画を作成しております。

少し先にはなりますが、新しい龍王公園が皆さんに楽しく利用してもらえる場所になるよう、私たちも頑張って事業を進めてまいります。もちろん、これからの公園整備についても、皆さんの意見を伺いながら、多様な人々が分け隔てなく楽しめ、多くの人が集う公園を整備していきたいというふうに考えております。

貴重なご提案、ありがとうございました。

以上、答弁とさせていただきます。

○11番（飛野花君） 議長。

○議長（山田駿太君） 飛野花議員。

○11番（飛野花君） 以上で質問を終わります。

○議長（山田駿太君） 飛野花議員の質問を終わります。

次に、12番、五十崎中学校、藤川結議員の発言を許します。

○12番（藤川結君） 議長。

○議長（山田駿太君） 藤川結議員。

○12番（藤川結君） 12番、藤川結です。

〔藤川結議員登壇〕

○12番（藤川結君） 近年、日本では地震や台風、大雨などの自然災害が多く起こっています。本校で行った「あなたが住んでいる地域についてもっと良くしたいと思うことはなん

ですか。」という質問に対して、16名が「災害への備え」と回答しています。なかには、「災害が心配なので、古い街並みをすべて壊すのではなく、もう崩れそうな建物を壊した方がいいのではないか。」というものがありました。そこで、町がどのような災害を重視し、どのような備えをしているのかを詳しくお聞きします。

1つ目に、災害が実際に起きたときのことについて伺います。災害が起こると、住民に対して避難を呼びかけたり、情報を伝えたりすることが大切になってくると思います。内子町では、どのような手段で避難情報を伝えているのでしょうか。防災行政無線やスマートフォンなど、どのような方法が使われているか具体的な取り組みについて伺います。

○議長（山田駿太君） 藤川結議員の質問に対して、理事者の答弁を求めます。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 藤川議員のご質問にお答えをいたします。

台風被害や地震、災害、大雨に伴う洪水や土砂災害など、これらの自然災害は人命に関わる災害ですから、どの災害も極めて重要と考えております。特に南海トラフ地震への備えとして、地震の被害想定数値に基づき、備蓄品の必要数確保に取り組んでいるところであります。避難指示の発表、避難所の開設情報などは内子町防災行政無線でお知らせするほか、テレビ放送のテロップに表示されます。また、同様の内容が防災情報アプリや登録された方への防災メール配信、町ホームページ、公式ラインを使ってお知らせをしております。

そのほか、危険な地域には広報車を走らせたり、消防団員が戸別訪問したりして住民へ避難を呼びかけています。多くの住民の皆さんに防災情報アプリや公式ラインへ登録していただき、情報取得に役立ててもらいたいと思います。

災害に対する備えは非常に大切です。ご質問ありがとうございました。

以上、答弁とさせていただきます。

○12番（藤川結君） 議長。

○議長（山田駿太君） 藤川結議員。

○12番（藤川結君） 2つ目に、災害への備えとして防災訓練の実施も大切だと思います。町では、地域住民を対象とした防災訓練を定期的に行っているのでしょうか。私は参加したこともないし、防災訓練があるのかさえ知りません。そこで、その防災訓練に実際に参加している住民の割合はどのくらいなのか伺います。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 防災訓練についてでございますが、内子町では2年に1回、町主催の防災訓練を実施しております。地域住民や消防団、自主防災組織、関係機関などから参加をしていただいております。直近の令和5年12月に実施した訓練には181人が参

加しましたが、そのうち住民は55人、率にして30.4%でございます。そのほかにも、各自主防災組織で定期的に防災訓練を実施されております。こちらの訓練につきましては、自主防災組織が主催する訓練のため、より多くの住民の方々が参加されております。防災訓練を定期的に行うことで、災害時に慌てず落ち着いて行動することができますので、1人でも多くの方に訓練に参加していただけるよう、今後も啓発に取り組んでまいりたいと思います。

以上、答弁とさせていただきます。

○12番（藤川結君） 議長。

○議長（山田駿太君） 藤川結議員。

○12番（藤川結君） 3つ目に避難場所についてです。私たちが普段使わせていただいている町体は避難場所に指定されていますが、食料や水などの備蓄が十分でないと感じています。災害時に避難場所として機能するためには、こうした物資がしっかりと備えられていることがとても大切です。この点について、町はどのように考えているのでしょうか。また、今後どのような対策をとっていく予定なのか伺います。

併せて、避難場所にはスフィア基準という国際基準があり、1人あたり最低3.5㎡の住居スペースが必要とされていますが、内子町の避難場所では、この基準は満たされているのでしょうか。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 避難所として機能するためには、食料等の物資を備蓄することは極めて重要なこととございます。内子町では、南海トラフ地震被災時の愛媛県による被害想定数の試算をもとに、公助が始まるまでの3日間の必要な保存食、飲料水の備蓄に取り組んでおります。また、これらの備蓄物資を五十崎中学校を含め、町内4つの小中学校及び5ヶ所の集積所を用意し、分散備蓄に努めております。まだ十分な数量を確保できておりませんが、今後とも計画的に物資の必要数確保に向け、取り組んでいきます。

次に、避難所のスフィア基準との関係ですが、指定避難所67ヶ所の収容人数は1人あたり3.5㎡のスフィア基準に基づき、7,810人を収容可能としております。内子町の南海トラフ地震時の最大避難想定者数は4,762人ですから、十分な数を確保できているものと考えております。災害に際して一番大切なことは「自分の命は自分で守る」ということです。自治体では、支援物資などの援助が届くまでの期間にすべての住民に対して十分な職業や住環境を提供することはできません。そのため、平常時から保存食、携帯トイレなどの生活に必要なものの備蓄に努めていただくことを各家庭で取り組んでいただきたいというふうに思います。

以上、答弁とさせていただきます。

○12番（藤川結君） 議長。

○議長（山田駿太君） 藤川結議員。

○12番（藤川結君） ペット同行避難に対しての内子町の考えをお答えください。

○総務課長（上山淳一君） 議長。

○議長（山田駿太君） 上山総務課長。

○総務課長（上山淳一君） ただ今の質問にお答えをさせていただきます。

ペットの命を守ることも大切です。内子町では、避難をする場合、ペットと一緒に避難を呼びかけております。また、避難所にはペットのスペースを確保することにしております。ただし、避難された方のなかには動物が嫌いな方、また動物アレルギーの方もいらっしゃるかもしれませんので、人とは別の場所を確保するなど、一定のルールが必要かなと考えております。

以上でお答えとさせていただきます。

○12番（藤川結君） 議長。

○議長（山田駿太君） 藤川結議員。

○12番（藤川結君） 以上で終わります。

○議長（山田駿太君） 藤川結議員の質問を終わります。

最後に、13番、五十崎中学校、宮岡拓都議員の発言を許します。

○13番（宮岡拓都君） 議長。

○議長（山田駿太君） 宮岡拓都議員。

○13番（宮岡拓都君） 13番、宮岡拓都です。

〔宮岡拓都議員登壇〕

○13番（宮岡拓都君） 内子町の将来に向けた重要な課題として、少子高齢化が挙げられます。この問題は町や地域の持続可能性に大きく影響を与えるため、どのように解決していくかが非常に重要だと考えています。そこで、少子高齢化を解決するために内子町が現在行っている取り組みや将来に向けての展望についてお聞きします。

それでは、1つ目の質問です。若い世代が地域に定住し、働く場所を確保することが必要だと思います。五十崎中学校でアンケートをとったところ、123名中23名が「将来、内子町で暮らしたい」と回答し、34名は「暮らしたくない」と回答しました。暮らしたくないと思う理由の大半が「交通が不便」「お店が少ない」「娯楽がない」という理由です。なかには「自分の夢を叶えるために県外へ行きたい」「1人暮らしをするには不便だ」という意見がありました。中学生がもっと内子町で働きたいと思えるように、町全体で産業を盛り上げたり、若者に技術を継承する仕組みを作ったりすれば、町も賑わい、1人暮らしを楽しみながら働くことができるのではないかと考えます。今、内子町ではどのようなことが進められているのか質問します。

○議長（山田駿太君） 宮岡拓都議員の質問に対して、理事者の答弁を求めます。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

[小野植正久町長登壇]

○町長（小野植正久君） 宮岡議員のご質問にお答えをいたします。

現在、内子町では、身近にある企業を知ってもらうために、高校生を対象に合同企業説明会や町内企業を紹介するガイドブックを作成し、配布をさせていただいております。

また、やはり産業が元気になることが、まずは大事ではないかというふうに思います。そのため、内子町では農業、あるいは林業、また商業、工業、こういったものを営んでいる方が経営が行いやすいように補助金などで支援をさせていただいております。

一例といたしましては、商店街の空き店舗等を活用してお店を開きたい場合、改修や設備購入などの補助を行っています。伝統技術の継承についても重要であります。次の世代に技術をつなぐための奨励金制度もあります。これらの取り組みなどによりまして、一定程度の商店街の賑わいや伝統技術の継承につながっているものだと思います。

今後は、これまでの施策をさらに強化をし、若い世代が内子町で暮らし、働くことに魅力を感じる環境づくりを進めていく必要があると思います。皆さん方の意見やニーズをしっかり捉えて、より効果的な取り組みを実現してまいりたいと思います。

以上、答弁とさせていただきます。

○13番（宮岡拓都君） 議長。

○議長（山田駿太君） 宮岡拓都議員。

○13番（宮岡拓都君） 2つ目は、内子町では移住者を促進するためにどのような取り組みを行っているのでしょうか。僕たちは今年5月の遠足で内子町の人口と高齢化率を調べました。4月現在で人口1万4,566人、高齢化率42.3%でした。このまま人口減少が続くと、僕たちが20歳を超える頃、2030年には、1万2,552人と予測されています。人口減少がこのまま続き、中学生も内子町に戻ってこないのであれば、移住したいと思う人を増やすこともひとつの方法だと考えます。

移住者を増やすには、内子町の魅力をたくさん発信して移住者を増やすなどのほかにどのような支援を行っているか、具体的にされていることについて質問します。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

[小野植正久町長登壇]

○町長（小野植正久君） 宮岡議員おっしゃるとおり、内子町の魅力を発信しながら移住者を増やす取り組み、本当に重要なことで必要なことだと考えておりまして、現在も様々な取り組みを行っています。

具体的なものといたしましては、例えば移住コーディネーターを2名配置をしまして、移住検討者との移住相談、また地域案内なども行っております。また、「内子ヘイジュー！」というオンラインコミュニティを立ち上げ、ウェブやラジオ放送を使って内子の魅力を発信するほか、いつでも気軽にオンライン上で移住相談ができる環境を整えていることも特徴的な取り組みのひとつであります。このような移住者を増やす取り組みも確かに大切に

ございますけれども、皆さんのような中学生が将来「ここに住み続けたい」「いつか帰ってきたい」と思える町にする取り組みが私はやっぱり一番大切ではないかなというふうに思っております。皆さんも将来、進学や就職でいったん内子町を離れることがあるかもしれません。そのときに、皆さんが「やっぱり内子町がいいな。」と思ってもらえるような町をつくっていくことが大切であり、そのためにも内子町の総合計画に掲げた事業を進めて、子育て、教育、景観、産業、福祉、防災など、様々な角度から総合的に町の魅力に磨きをかけていきたいというふうに思います。

以上、答弁とさせていただきます。

○13番（宮岡拓都君） 議長。

○議長（山田駿太君） 宮岡拓都議員。

○13番（宮岡拓都君） 3つ目に、子育てをしやすい町をつくるための取り組みについて質問します。

今、内子町では子ども医療費助成制度、子育てに関する相談窓口の開設など、いろいろなされていると思いますが、将来に向けて少子高齢化にどう立ち向かうか、どのような取り組みを進めているのか。また、新たにしていることがあるのか質問します。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 内子町では、子育て支援の充実を推進するため、「子どもの笑顔がキラリと光る子育て応援タウン内子」を基本理念として、子どもや子育てに関する取り組みを進めております。

現在、内子町が実施している数多くある子育て支援のなかでも、中学生にも馴染みのあるものをいくつか紹介いたしますと、1つ目が高校卒業までの医療費助成制度。2つ目として、小中学生・高校生の修学旅行費の補助。3つ目として、学校給食費の補助。4つ目、公園の整備などがございます。特に、公園整備は今後も計画的に進め、さらなる充実を図ってきたいというふうに考えております。また、学校や地域が連携した「ふるさと教育」の取り組みは、地域の自然や暮らしに密着した歴史や文化の学習、伝統芸能体験、郷土食による食育、自然観察会など、多様な地域資源を活用した体験を通し地域への愛着や誇りを育み、若い世代の皆さんが将来この町で暮らし続けたいと感じられる環境づくりに結び付くものと考えており、地域の未来を担う皆様の育成とともに、地域全体の活力公助にも直結する大切な施策であるというふうに思います。今後も内子町に住む多くの若者や子どもたちの意見に耳を傾け、町政に反映させながら、安心して子育てができる環境づくりに努め、「この町で暮らしたい。」「この町で子どもを産みたい。」と思えるような町にしていきたいというふうに思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

以上、答弁とさせていただきます。

○13番（宮岡拓都君） 議長。

○議長（山田駿太君） 宮岡拓都議員。

○13番（宮岡拓都君） 4つ目に、高齢者のための支援についてお聞きします。

僕は、高齢者が地域活動に参加することが地域活性化につながると思います。町では、高齢者が地域で活躍できるような取り組みは行っていますか。内子町の未来のために、僕たち中学生にも何かできることがあるのではないかと考えることが大切だと思います。少子高齢化が進むことが予想されるなかで、将来の町の姿についてどのような展望を持っているのか、町長のお考えを伺います。

○町長（小野植正久君） 議長。

○議長（山田駿太君） 小野植町長。

〔小野植正久町長登壇〕

○町長（小野植正久君） 宮岡議員おっしゃられましたとおりですね、高齢者が地域活動に参加することで地域が活性化しますし、高齢者の地域貢献、社会参加は町にとってもとても大切なことだというふうに思います。

まず、内子町で高齢者の方々が活躍されている事例をいくつか紹介をさせていただきます。

内子町社会福祉協議会内にある内子町シルバー人材センターでございますが、定年退職後の高齢者の豊かな知識、経験、技能を活かして地域へ貢献するために設立された公益的な組織でございます。会員さんたちは、庭木の剪定や草刈り、バスの運転など、臨時的な仕事を受け、報酬も得ながら、生きがいと社会参加を実現していただいております。

小田地区の中川自治会では、高齢者が中心となって地域の困りごとを解決する自主的なグループ「よろず屋なかがわ」が活躍中でございます。それぞれの地域では、お祭りなどの伝統行事や伝統文化、風習などを守っていくうえで、高齢者の経験や知恵、技術は欠かすことができません。

このように、高齢者の存在はさまざまな分野において大切な町の宝でもございます。そのためにも、まず高齢者の方々には、いつまでも健康で幸せな毎日を送っていただきながら、元気に地域で活躍していただくために、健康や福祉の面で様々な支援を行っています。そして、町や地域が掲げる課題や問題点について一緒になって考え、活動してもらうことで、「私たちは町を元気づけよう。」と頑張っていただいております。皆さんたちも、学校や自治会活動など、自分の身近な場所で高齢者の皆さんとともに小さな一歩を踏み出すことで明るい内子町の未来を築く力になれると思います。

中学生の皆さんへ私からのお願いであります。何事にも興味、関心を持ち、地域のいろいろな活動に積極的に参加をしてください。そして、愛すべき自分のふるさとに自信と誇りを持っていただきたいと思います。これからも一緒になって、内子町の明るい未来のために頑張りましょう。今日はこれからのまちづくりにおいて、とても重要な質問をありがとうございました。

以上、答弁とさせていただきます。

- 13番（宮岡拓都君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 宮岡拓都議員。
- 13番（宮岡拓都君） 以上で質問を終わります。
- 議長（山田駿太君） 以上で、本日の議事日程はすべて終了しました。  
泉内子町議会議長、挨拶をお願いします。
- 内子町議会議長（泉浩壽君） 議長。
- 議長（山田駿太君） 泉内子町議会議長。

〔泉浩壽内子町議会議長登壇〕

○内子町議会議長（泉浩壽君） 令和7年度内子町こども議会の開催にあたり、皆様に心よりお礼を申し上げます。

まずは、本日ご参加いただいた14名のこども議員の皆さん。山田議長の進行のもと、感性豊かで素直なご質問やご提案をいただきまして、誠にありがとうございます。皆さんがこの議会に向けて、内子町や地域について深く関心を持ち、一生懸命考えてくださったことに大変頼もしく、喜びを感じております。今日の質問や提案については、小野植町長や林教育長がお答えしたように、町が取り組むべき課題だけでなく、自分たちで解決できることや町と協力してできることもあります。私たち議会もその声をしっかり受け止め、今後の町政に活かしていけるよう努めてまいります。これからも、皆さんは勉強や部活動など、大変忙しい毎日を過ごすと思いますが、地域や町の行事に積極的に参加することで、自分たちができる役割を見つけてほしいと思います。そして、その経験を通じて、内子町への愛着を深めていただきたいと思います。私たちみんなで協力し合いながら、元気で魅力あふれる内子町づくりに取り組んでいきましょう。

最後になりましたが、本日のこども議会開催に際し、ご尽力いただきました小野植町長をはじめ、関係者の皆様、特に各中学校の校長先生方や担当教員、ご協力いただいた保護者の皆様には、心より感謝を申し上げます。

この場を無事終えることができましたことは、多くの方々のおかげであります。簡単ではございますけれども、お礼とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

- 議長（山田駿太君） 以上をもって、令和7年度内子町こども議会を閉会します。
- 議会事務局長（高嶋由久子君） ご起立願います。礼。

---

午前 11時18分 閉会

---

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

内子町子ども議会議長

内子町子ども議会議員

内子町子ども議会議員